

中学2年生がビブリオバトルを 経験しました！！

図書館研究会の公開授業として、国語科の井上記一先生が、本校の中学2年生の授業でビブリオバトルを実施しました。

ビブリオバトルとは、自分が気に入った本を5分間で紹介し、紹介を聞いた参加者全員で「読みたくなった本」を投票し、『チャンプ本』を決めるというゲームです。

公式ルールは…

- 1.発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる.
- 2.順番に一人5分間で本を紹介する.
- 3.それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う.
- 4.全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする.

…ですが、遺愛ではパワーポイントを用いての紹介を可能としました。クラス全員での予選会の後、公開授業では選ばれた4人がそれぞれ夏目漱石の『こころ』、ジェーン・B・メーソン／セアラ・ハインズ・スティーブンスの『プリンセススクール』、有川浩の『阪急電車』、太宰治『人間失格』の紹介をしましたが、どれもとてもよくまとまっていて、思わず読みたくなるような上手な紹介でした。読解力、要約力、プレゼンテーション力、度胸力などの能力が高まるプログラムです。高校生にもぜひチャレンジできる機会があればいいと思いました。



2014年11月20日(木)